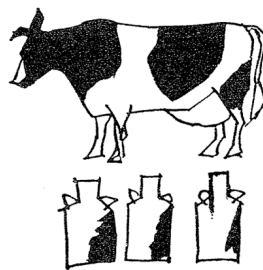


# 農業



平成26年7月号  
会誌 No. 1587

## 目次

### 巻頭言

- 世界水フォーラムへの農業分野の関わり……………太田 信介 3  
～第7回世界水フォーラムに向けて～

### 論 壇

- デジタル知とアナログ知……………難波 成任 4

### 農業懇話会

- フィールド発の農村再生論……………山下 祐介 6  
～『限界集落の真実 過疎の村は消えるか?』より～  
講 演…………… 6  
質疑応答…………… 24

### 農事功績者座談会

- 環境と調和した酪農経営の実践…………… 33  
—法人化と独自乳製品製造販売の展開—  
私の経営と農業への思い……………横尾 文三 33  
現地指導者のコメント……………坂井 隆宏 38  
質疑・討論…………… 41

農業・農村の現場から

女性起業が展開できる環境づくりで健全な地域農業を！……中村 貴子 52

世界の農業は今

西アフリカのササゲ栽培における品種の多様性と農民の選択… 村中 聡 59

農政情報	65
大日本農会だより	66
編集部から	66

表紙写真説明

農村の若手女子力とは（埼玉県入間郡越生町<sup>おこせ</sup>）

埼玉県の越生梅林は、関東三大梅林に数えられ、越生町の梅園（うめその）神社に九州太宰府天満宮を分祀した際、菅原道真公に因んで梅を植えたことが起源とされている。

この越生町に、農家出身ではない奥さんが嫁いで奮闘している物語がある。山口農園を経営する山口由美さんで、ウメを栽培・加工して出荷するだけでなく、収穫体験や加工体験を通じて消費者との交流を行うほか、各種イベントへの参加、ホテルとのコラボを行うなど、その活動を広げ、次第に地域で注目されてきている。そこで、先月（6月）取材に伺い、本誌11月号に「農業・農村の現場から」の記事の寄稿をお願いした。3人のお子さんをお持ちの主婦である。

（写真：編集部）